

プログラム

2023 年 9 月 23 日 (土)

9:00~9:05 開会挨拶

9:05~9:55 一般演題 1 「研究」

座長：一二三 亨 (聖路加国際病院 救急科・救命救急センター)

- 01-1 COVID-19 流行前の救急搬送困難の要因
～神戸市消防救急搬送データベースを用いた後ろ向き観察研究～
神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 高山 和之
- 01-2 COVID-19 感染拡大は救急隊の業務効率と院外停止患者予後に影響を及ぼしたか？
神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 杉山 隼
- 01-3 当院救急科で経験した経鼻胃管症候群と考えられた症例に関する検討
愛媛県立中央病院 救急科 田中 光一
- 01-4 志賀毒素投与により作成した溶血性尿毒症症候群マウスモデルにおける
尿細管間質障害の評価
愛知医科大学医学部 救急集中治療医学講座 尾崎 将之
- 01-5 添付文書改訂に向けての乾燥まむしウマ抗毒素の使用実態調査
聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 一二三 亨

10:00~10:40 一般演題 2 「集中治療・PICS・倫理」

座長：高須 修 (久留米大学 医学部救急医学講座 主任教授)

- 01-6 敗血症患者における PICS の予測モデル開発の試み -単施設前向き観察研究-
神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 井上 茂亮
- 01-7 集中治療室退室から 1 年以上経過した重症 COVID-19 患者家族の
精神症状に関する単施設観察研究
聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 白崎 加純
- 01-8 救急外来・集中治療室における臨床倫理委員会の活用
淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科 夏川 麻依
- 01-9 当高度救命救急センターにおける入院 48 時間以降に死亡となった
後期高齢者に対する終末期治療方針決定の現状
奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 井上 洋平

10:50~11:50 特別講演「医療におけるロゴセラピー」

座長：石松 伸一（聖路加国際病院 院長）

演者：林田 憲明（聖路加国際病院 顧問）

12:00~13:00 ランチョンセミナー「病院経営における救急医療の重要性」

座長：渡辺 明良（学校法人聖路加国際大学 法人事務局長）

演者：田崎 年晃（社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 事務長）

協賛：株式会社ホギメディカル

13:10~13:30 総会

司会進行：石松 伸一（第38回日本救命医療学会総会・学術集会会長）

13:40~14:40 一般演題3「症例検討」

座長：白崎 加純（聖路加国際病院 救急科・救命救急センター）

01-10 動静脈血栓症を生じたレミエール症候群の一例

日本医科大学付属病院 救命救急科 鶴田 晶望

01-11 感染性心内膜炎による重症呼吸不全に対して V-V ECMO 管理下に開胸手術を実施した1例

福岡大学病院 救命救急センター 二宮 駿

01-12 鈍的外傷後遅発性に発症した左腎動脈仮性動脈瘤の一例

久留米大学 医学部救急医学講座 小林 敦人

01-13 神経伝導速度評価を行った有機リンによる遅発性神経障害の一例

久留米大学 医学部救急医学講座 伊勢 将大

01-14 アルコール関連低カリウム血症補正中に発生した致死性不整脈の一例

福島県立医科大学附属病院 救急科 鈴木 剛

01-15 オオミフクラギ摂取により死亡した1例

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科 高畠 和真

14：50～16：05 シンポジウム 「救急医療と総合診療の将来を考える」

座長：大谷 典生（聖路加国際病院 救急科部長・救命救急センター長）

S1-1 昨年のディスカッションから

慶應義塾大学医学部 救急医学 准教授

本間 康一郎

S1-2 救急医療と総合診療の「共感」と「継承」について考える

公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院
副院長兼救命救急センター長兼救急総合診療部部長

本多 英喜

S1-3 救急医も総合診療医もジェネラリストである

慶應義塾大学医学部 予防医療センター 特任准教授

藤島 清太郎

**S1-4 救急から総合診療へ転向時の戸惑いを出発点に、
両領域の業務の違いと専攻医教育を考える**

国立国際医療研究センター病院 総合診療科 診療科長

稲垣 剛志

16：05～16：10 閉会挨拶
